



経済日誌

2025年10月15日～2025年11月14日の主な出来事



10.15 **熊本空港が“くまモン空港”に**
熊本空港のあらゆる場所をくまモンのイラストなどで飾るキャンペーンが15日始まった。2026年3月15日まで。期間中は熊本空港の愛称を「阿蘇くまモン空港」に変更する。県の「くまモンランド化構想」の一環。

10.16 **TSMC第2工場、建設開始**
TSMCは16日、熊本第2工場（菊陽町）の建設を開始したと表明した。2025年7～9月期の決算説明会で魏哲家会長兼最高経営責任者（CEO）が明らかにした。24日には子会社JASMと菊陽町が立地協定を締結した。

10.19 **熊本西環状道路、池上工区開通**
熊本市が整備を進めている「熊本西環状道路」12.5キロのうち、池上工区4.6キロが19日、開通した。既に開通していた区間と合わせ、熊本西環状道路の7割が利用可能となった。交通量の分散が期待される。

10.21 **以降は会員専用ページにて公開しております。**
熊本県商工会連合会が会員企業に実施した調査で、2025年1月1日に発効する県民低価格の価格（55円）について、「高い」とは「やや高い」と答えた企業が68%に上った。今年度の調査結果は、2025年10月15日（水）に発表される。

11.6 **県内景気「緩やかに回復」 財務局**
九州財務局は6日、10月の熊本県内の経済情勢報告を公表した。景気の総括判断は「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復している」として、9四半期連続で据え置いた。

11.7 **県内景気判断据え置き 日銀**
日銀熊本支店は7日、11月の金融経済概観を発表した。熊本県内の景気は「緩やかに回復している」との10月の判断を据え置いた。一方、住宅投資は「弱めの動きとなっている」とし、判断を引き下げた。

11.10 **熊本市電、新型車両を導入**
熊本市交通局は10日、熊本市電に3両連結の新型低床車両を追加導入した。全長は21.35メートルで定員は112人と現行車両の定員平均の1.5倍。新型車両は3編成目で、12月にさらに1編成導入する予定。

熊本市、新庁舎の配置案提示
熊本市は13日、市役所本庁舎の移転建て替えに伴う新庁舎の各機能の配置案を示した。議会は同日承認し上層部に置く。各部署の執務機能と災害対策本部機能は中層部に、市民らが集う「交流・共創」機能は低層部など各所に配置する。

10.31 **アクセス鉄道、上下分離方式で合資会社設立**
熊本県とJR九州は31日、熊本市の市電と市営バスを結ぶアクセス鉄道を、上下分離方式で合資会社設立する。2025年度の県民アンケートの結果を公表した。TSMCの波及効果について、20%が「ビジネスチャンスが拡大した」と回答した。

（入力は数分で終わります）

[会員の方はこちらから](#)